

スコアカード記帳例

試合詳細

試合番号 27

○打順表は右のとおり

○試合経過詳細において、
[]書き SBF はそれぞれ
ストライク・ボール・ファウルを示す

【先攻】福岡県立榮和総合高等学校				【後攻】南光学園高等学校			
打順	位置	選手名	UN	打順	位置	選手名	UN
1	8	井上 由莉那	8	1	4	中島 美春	5
2	3	矢吹 奈子	10	2	5	佐藤 真由美	10
3	2	多田 愛佳	12	3	8	斉藤 満喜子	42
4	9	宮脇 咲良	23	4	3	富川 晴美	14
5	5	森保 まどか	37	5	2	永田 ルリ子	18
6	DP	田中 美久	3	6	6	名越 美香	9
7	4	穴井 千尋	17	7	DP	友田 麻美子	7
8	1	若田部 遥	18	8	7	林 香織	23
9	6	後藤 泉	4	9	9	榎田 道子	2
FP	7	植木 南央	55	FP	1	福永 恵規	11

○試合経過詳細

回	打者	詳細	記録上の注意
13:04 試合開始			
1 回 表	井上(8)	[FB]遊ゴロ→一塁(一死)。	
	矢吹(10)	バントが捕邪飛(二死)。	
	多田(12)	[SBF]死球。	
	選手交代	一塁走者・多田(12)に代わって、テンポラーランナー矢吹(10)	
	宮脇(23)	[BS]2 球目に、一塁走者が盗塁。 3 球目、三遊間安打。二塁走者は三塁進塁。	
	森保(37)	[B]初球、一塁走者が離塁アウト(三死)	離塁アウトの刺殺は、最も近い位置にいた守備者に付ける。 投球は無効となるため、×印を付ける(投球数に含めない)。
1 回 裏	中島(5)	[SS]空振り三振の球が暴投となり、3ストライクルール(振り逃げ)で打者が一塁に生きる。	KSWP は1行書きでもよい。 この走者は自責点の対象者ではない。
	佐藤(10)	[B]1 球目に、一塁走者が盗塁。 2 球目、三塁前バント。三塁手が三塁送球するも、二塁走者は三塁進塁(野選)。打者は一塁出塁。	打者に犠打を記録。
	斉藤(42)	[FS]二ゴロ→二塁手が二塁に入り、一塁走者アウト(一死)。 三塁走者は本塁生還、打者は一塁出塁。	
	富川(14)	[B]投ゴロで投手が弾いた打球を二塁手が処理→一塁(二死)。 一塁走者は二塁進塁。	補殺は投手と二塁手に記録。
	永田(18)	[BFSBB]四球。	
	選手交代	一塁走者・永田(18)に代わって、テンポラーランナー富川(14)	
	名越(9)	[SF]見逃し三振の球を捕手が落球し、打者にタッチ(三死)。	
2 回 表	森保(37)	[FSB]左翼線二塁打。	右欄外に②を記入。
	選手交代	6 番打者・田中(3)に代わって、代打にFPの植木(55)	DP の打順に FP が入った場合には、欄外に FP を記入。 捕刺殺失策は FP 欄に統一して記入するため、横線で欄を消す。
	植木(55)	一塁前バント→一塁(ベースカバーは二塁手、一死)。 二塁走者は三塁進塁。	
	穴井(17)	[FBS]一塁邪飛(二死)。一塁手が捕球した後、場外に出てしまい、三塁走者が本塁生還。	失策ではないので、投手の自責点となる。 内野邪飛の捕球後場外は、犠飛扱いとならず、打者に打点は付かない。
	若田部(18)	[SBB]遊飛(三死)。	

回	打者	詳細	記録上の注意
2 回裏	守備側 選手交代	[先攻監督からのコールはなし] 代打・FP 植木(55)は、攻撃兼務のままとみなす	植木(55)の位置は、 H → H7 になる。 植木(55)は(攻撃兼務になったものの)、守備位置に変更はないので、裏面の交代の記録欄への記入はない。
	選手交代	7番打者・友田(7)に代わって、代打にFPの福永(11)	捕刺殺失策はFP欄に統一して記入するため、横線で欄を消す。
	福永(11)	三塁前バントヒット。	
	選手交代	一塁走者・福永(11)はFPに戻り、代走に再出場の友田(7)	植木(55)の位置は、 DP → DP ㊟
	林(23)	[BF]二ゴロ→二塁で一塁走者アウト(ベースカバーは遊撃手、一死)。遊撃手→一塁で打者走者アウト(併殺成立、二死)。	併殺記録 4-6-3 を、表面欄に記入。
	榎田(2)	[S]遊ゴロとなったが、捕手の打撃妨害。 監督は、打者の一塁出塁を選択。	捕手の失策を記録する。
	中島(5)	[FF]三ゴロ→一塁(三死)。	
3 回表	守備側 選手交代	[後攻監督からのコールはなし] DPの代走は、DPを引き継いだとみなす	友田(7)の位置は DP ㊟ → DP ㊟ DP 2回裏7番打者交代で、最終的に友田(7)はDP再出場、福永(55)の守備は投手で変化なし。 従って、表面の交代の記録欄への記入は、(DP) #7 のみとなる。
	後藤(4)	[BFSBB]5 球目の投球を、捕手がストライクと勘違いし、ボール回しで三塁送球。ペナルティ1ボールで、打者は四球出塁。	ペナルティ 1 ボールの旨を抜き出し付記する。 捕手の失策扱いではないので、自責点対象走者である。
	井上(8)	[SBF]3 バント失敗(一死)。	
	矢吹(10)	一二塁間安打。一塁走者は三塁進塁。	
	多田(12)	[S]1 球目に、一塁走者が盗塁。 2 球目、中前安打。三塁走者は本塁生還。二塁走者は三塁をオーバーランし、ボールが中堅→捕手→三塁と渡るも、三塁に生きる。その間に、打者走者は二塁進塁。 二塁走者は、三塁に滑り込んだ際、負傷・出血。中断5分。	多田(12)は再出場ではない。 打席欄左の交代を示す縦波線等は不要。 中断は概ね5分以上のものを記録する。
	選手交代	三塁走者・矢吹(10)に代わって、代走に代替選手・駒田京伽(79)	代替選手の欄外にRPを記入。 交代の波線部には、RP Rと付記。
	宮脇(23)	[BB]投ゴロ→一塁(二死)。各走者は進塁できず。	
	選手交代	二塁走者・多田(12)に代わって、テンポラーランナー宮脇(23)	
森保(37)	[S]遊ゴロ→一塁手落球(失策)で、一塁出塁。 その間に、三塁走者は本塁生還。 二塁走者は三塁進塁後、一塁手の落球を見て本塁突入を試みるも、ボールが一塁→捕手と渡りタッチアウト(三死)。	遊撃手に補殺を与える。 三塁走者の得点は、代替選手である駒田(79)に記録。	
3 回裏	守備側 選手交代	田中(3)が一塁手を兼務したDPとして再出場 植木(7)が兼務を解除してFP(左翼手)に戻る 代走(代替選手)・駒田(79)がOPに	田中(3)の位置は、DP → DP㊟ 駒田(79)の位置は、R → R OP
	佐藤(10)	[FB]二飛(一死)	
	斉藤(42)	捕手前バント→一塁(ベースカバーは二塁手、二死)。	
	富川(14)	[SBS]空振り三振。 投球は1バウンドするも、ボールは捕手→一塁(三死)。	KS2-3 は1行で記入(振り逃げ時とは違い、記入欄が広いため)。

回	打者	詳細	記録上の注意
4 回 表	田中(3)	[SBF]見逃し三振(一死)。	交代の縦波線と#3 を記入。
	穴井(17)	[S]右中間二塁打。	右欄外に②を記入。
	守備側 選手交代	右翼手・榎田(2)に代わって、河合その子(12)が入り投手に、 投手・福永(11)が一塁手に、一塁手・富川(14)が右翼手に	表面の交代の記録欄へ記入。
	若田部(18)	1 球目が不正投球。二塁走者は三塁進塁。	IP 記号を 7 番打者の進塁に記入 するので、打者の初球「・」には IP 記号を付記しない。
	選手交代	8 番打者・若田部(18)に代わって、代打・秋吉優花(7)	交代の縦波線は、若田部(18)の初 球にかからないようにする。
	秋吉(7)	[SB]遊ゴロ→本塁で、三塁走者ア外(二死)。打者は一塁出塁。	
	後藤(4)	右翼線三塁打。一塁走者は本塁生還。	右欄外に③を記入。 一塁走者は先発投手・福永(11)が 残した走者の振り替わり。従って、 この失点・自責点は、先発投手・ 福永(11)に記録。
井上(8)	[F]一ゴロ→一塁触塁(三死)。		
4 回 裏	守備側 選手交代	代打・秋吉(7)に代わって、若田部(18)が投手として再出場	裏面の交代の記録欄へ記入。
	永田(18)	二遊間安打。	永田(18)は再出場ではない。
	名越(9)	[B]一塁前バント→一塁(ベースカバーは一塁手、一死)。 一塁走者は、二塁進塁。	
	選手交代	7 番打者・友田(7)に代わって、代打に FP の福永(11)	7 番打者・福永(11)の位置は、 H → HH
	福永(11)	[B]1 球目、捕逸で二塁走者は三塁進塁。 [S]中飛。犠飛となる当たりだったが、中堅手が落球(失策)。 打者は一塁出塁、三塁走者は本塁生還。	捕逸の記録として、 表面欄に捕手の名前を記入。 打者には犠飛と打点を記録。 捕逸による進塁があるので、(この 時点では)非自責点。
	選手交代	一塁走者・福永(11)は FP に戻り、代走に白石麻子(22)	白石(22)は DP として 7 番打者に入 るので、欄外に FP と書かない。
	林(23)	[BB]2 球目に、一塁走者が盗塁を試みた際、捕手が二塁へ悪 送球する。 [FB]四球。	走者には盗塁を記録。悪送球で 走者が三塁へ進塁すれば失策と なるが、この場合は失策にはなら ない。
	河合(12)	投前バント→ 三塁で二塁走者アウト(遊撃手がベースカバー、二死)。 一塁走者は、二塁進塁。打者は、一塁出塁。	交代の縦波線と#12 を記入。 これは3回目のアウトの機会であ る。中堅手の失策がなければ、こ の機会の前までに 5 番打者は本 塁生還できていないので、5 番打 者の非自責点が確定。また、これ 以降の失点は、(投手交代がなけ れば)全て非自責点。
	中島(5)	[SBB]3 球目に、一塁・二塁走者が重盗。 [F]空振り三振するも捕手が投球を後逸する。三塁走者は本塁 生還。二塁走者は、三塁進塁。打者は、一塁出塁。	通常、PB 等は後位走者を括弧書 きする。ただし振り逃げの場合は、 打者に PB 記号を付すため、走者 の PB を括弧書きする。 表面の捕逸欄は、同じ選手が捕 逸を重ねた場合、○数字を記入。
佐藤(10)	[S]1 球目に、一塁走者が盗塁。 2 球目、遊ゴロ→一塁(三死)。		

回	打者	詳細	記録上の注意
5 回表	守備側	[後攻監督からのコールはなし]	表面の交代の記録欄へ記入。
	選手交代	DPの代走は、DPを引き継いだとみなす	白石(22)の位置は、R→R DP
	選手交代	(代替選手)駒田(79)がそのまま正規の交代者となる。	新たに交代が行われたとみなし、 波線とともに、交代の記録を記入する。 駒田(79)の位置は、 R OP → R OP OP
	駒田(79)	[S]中飛(一死)。	
	多田(12)	[FBBSB]四球。	多田(12)は再出場ではない。
	宮脇(23)	[BS]左前安打。一塁走者は二塁進塁。	
	選手交代	投手・河合(12)に代わって、投手・城之内早苗(17)	この回、2回目の守備交代なので、横波線には㊸記号を付ける。 また、1回目の横波線には㊹記号を付ける。
森保(37)	[S]二塁ゴロの打球に一塁走者が触れ、守備妨害で一塁走者アウト(二死)。打者は一塁出塁。	走者が打球に触れなければ安打になっていたと記録員が判断した場合であれば、打者には安打を記録する。	
選手交代	二塁走者・多田(12)に代わって、テンポラーレンナー・宮脇(23) 6番打者・田中(3)に代わって、代打・上西恵(36)	宮脇(23)は2回目のTRであるが、位置欄のTRは重ねて書かない。	
上西(36)	[BF]左飛(三死)。		
5 回裏	守備側	駒田(79)に代わって、矢吹(10)が再出場して一塁手に。	
	選手交代	代打・上西(36)がDPに。	上西(36)の位置は、H → H DP
	斉藤(42)	[FB]打者席を踏み出して打撃、守備妨害(一死)。	刺殺は捕手に記録。
	富川(14)	[BB]遊飛(二死)。	
	永田(18)	遊ゴロを遊撃手がファンブル(失策)。その後、間に合わない一塁に悪送球し、打者は二塁まで進む(失策)。	遊撃手には、失策2を記録。
	選手交代	二塁走者・永田(18)に代わって、テンポラーレンナー・富川(14)	富川(14)は2回目のTRであるが、位置欄のTRは重ねて書かない。
名越(9)	[BB]一二塁間安打。二塁走者が本塁突入するも、ボールは右翼→本塁でタッチアウト(三死)。	二塁走者進塁の記帳は、(6) 右凶でもよい。 9↓2T0	
6 回表	穴井(17)	中越二塁打。	右欄外に2つめの㊸を記入。
	若田部(18)	投手前バント→三塁に入った遊撃手に送球するも、遊撃手が落球し(タイミングはアウトだった)、二塁走者が三塁進塁。打者は一塁出塁。	交代の縦波線と#18を記入。 投手に補殺、遊撃手に失策を記録。 落球しなければアウトだったのだから、犠打は記録しない。
	後藤(4)	[B]二ゴロ。二塁手が本塁送球するも、三塁走者は本塁生還(野選)。一塁走者は二塁進塁、打者は一塁出塁。	失策があるので、この時点では非自責点。
	井上(8)	[FB]2球目を捕手が後逸。それを見て、各走者が進塁を試みるも、捕手→三塁で、二塁走者アウト。一塁走者は二塁進塁。 [F]三直(二死)。 三塁→二塁で、二塁走者アウト(併殺成立、三死)	ダブルプレイ記号 DP は、例のように ※記号を利用して差し支えない。 併殺記録 5-4 を裏面欄に記入。 7番打者の得点は、非自責点であることが確定。

回	打者	詳細	記録上の注意
6 回裏	選手交代	7番打者・白石(22)に代わって、代打にFPの福永(11)	7番打者・福永(11)の位置は、 HH → HHH
	福永(11)	二ゴロ→一塁(一死)。	
	林(23)	[SB]三ゴロ→一塁悪送球(失策)。ボールはフェンスを越える。 打者走者は二塁進塁。	
	選手交代	二塁走者・林(23)に代わって、代走・吉沢秋絵(25)	
	城之内(17)	一ゴロ、一塁手が打者走者にタッチしようとしたところ、打者走者が後ずさり(二死)。	交代の縦波線と#17を記入。 タッチしようとした一塁手に刺殺を与える。
	中島(5)	[BB]遊撃手への内野安打。二塁走者は三塁進塁。	
	佐藤(10)	打球はライト前へ。右翼手が捕って一塁へ送球するも送球が逸れて、打者走者セーフ(送球がよければアウトだった)。 三塁走者は本塁生還、一塁走者は三塁進塁。	外野へのゴロ打球の場合、アウトにできなかったとしても失策は記録しない(安打を記録)。 ただし、右翼手が送球してアウトのタイミングだったが一塁手が落球した場合は、安打を記録せず、9-3Eを記録する。
斉藤(42)	右ゴロ→一塁(三死)。		
7 回表	守備側 選手交代	代走・吉沢(25)は、そのまま左翼手に [後攻監督から、福永(11)についてはコールなし] 代打に入ったFP・福永(11)は、攻撃兼務のままとみなす。	7番打者・福永(11)の位置は、 HHH → HHH3 また、福永(11)は(打撃兼務になったものの)、守備位置に変更はないので、表面の交代の記録欄への記入はない。
	矢吹(10)	[SBFB]四球。	交代の縦波線と#10を記入。
	多田(12)	投手前バント→一塁(二塁手がベースカバー、一死)。 一塁走者は二塁進塁。	
	宮脇(23)	[B]2球目邪飛を、捕手が落球(失策)。 3球目、二ゴロ→一塁(二死)。二塁走者は三塁進塁。	
	森保(37)	右前安打。三塁走者は本塁生還。	捕手の邪飛失策がなければ、矢吹(10)は生還できていないため、この時点では非自責点。
	選手交代	6番打者上西に代わって、代打にFPの植木(55)	7番打者・植木(55)の位置は、 H7 → H7H 5回表代打H・7回表代打Hと、植木(55)・上西(36)の順序がわかりにくくなるため、それぞれ縦波線Hに#を付記。 ※普通はわかりにくくなることはない。FPが代打に入るとき(と不正な交代があるとき)、に生じる特殊例。
	上西(36)	[FFB]左前安打。一塁走者は二塁進塁。	この安打の時点で、矢吹(10)の得点は自責点となる。 まだ、アウトの機会が2回である(宮脇(23)のアウトの機会を2回と考えない)ことに注意。
穴井(4)	[SF]空振り三振(三死)。		

回	打者	詳細	記録上の注意
7 回 裏	守備側 選手交代	[後攻監督からのコールはなし] 代打・FP 植木(55)は、攻撃兼務のままとみなす	植木(55)の位置は、 H7H → H7H7 になる。 植木(55)は(攻撃兼務になったものの)、守備位置に変更はないので、裏面の交代の記録欄への記入はない。
	富川(14)	[S]右中間二塁打。	右欄外に②を記入
	永田(18)	[BF]投手強襲安打。二塁走者は進塁できず。	
	選手交代	一塁走者・永田(18)に代わって、代走・吉野佳代子(3)	
	名越(6)	[FBS]二フライで、球審がインフィールドフライを宣告(一死)。しかし、二塁手が落球し、それを見て各走者が進塁を試みるも、二塁手→遊撃手で一塁走者タッチアウト(二死)。二塁走者は三塁進塁。	併殺記録 4-6 を表面に記入。 インフィールドフライを落球し、走者を進塁させた場合には失策を記録するが、この場合は一塁走者をアウトにしているため、失策を記録しない。 インフィールドフライ落球時の進塁記録には、(※)を使用する。
	福永(11)	右中間安打。三塁走者は本塁生還。	二塁手の落球による進塁はあったが、失策が記録されたものではないので、この時点で自責点。
	選手交代	一塁走者・福永(11)は兼務解除して FP に戻り、代走・岩井由紀子(19)	
	吉沢(25)	[BFFB]4 球目、一塁走者が盗塁を試みた際、捕手が悪送球し、一塁走者は三塁進塁。 [B]四球。	前打席で代走だった吉沢が打席に入るので、縦波線を書かずに、#25 を記入。 盗塁と失策を記録する。
城之内(17)	中前安打。三塁走者は本塁生還。	捕手の送球失策がなければ、岩井(19)は生還できていないので、この時点では非自責点。	
中島(5)	[SB]二ゴロ→一塁(三死)。	7 番打者は、非自責点であることが確定。	
8 回 表	守備側 選手交代	[後攻監督からのコールなし] 代走・岩井(19)は、DP をそのまま引き継ぐとみなす 無通告で、代走・吉野(3)に代わって、永田(18)が捕手として再出場	横波線は、 タイブレーク 走者の打席欄の上に記入。 岩井(19)の位置は、R → RDP。 無通告の選手交代は、表面の交代の記録欄に、無通告であることを付記する。
	若田部(18)	捕手前バント→一塁(二塁手がベースカバー、一死)。二塁走者は三塁進塁。	無通告であっても、補刺殺や打撃等の記録は実際にプレイをした捕手・永田(18)に与える。
	後藤(4)	[FS]空振り三振。 ここで、先攻監督から捕手・永田(18)の無通告交代についてアピール。結果、三振は取り消し、永田(18)は失格選手になる。	2 球目までのプレイは有効。 失格選手は、裏面の名前に二重取り消し線を引き、無通告と付記。
	選手交代	失格選手の捕手・永田(18)に代わって、捕手・三田文代(24)	この回、2 回目の守備交代なので、横波線にはⓐ記号を付ける。 また、1 回目の横波線にはⓐ記号を付ける。
	後藤(4) 井上(8)	[B]右飛(二死)。 [B]二ゴロ→一塁(三死)	

回	打者	詳細	記録上の注意
8 回裏	佐藤(10)	故意四球。	佐藤(10)への投球数は 0 となる。 ボックスのIBをカウントしないように注意。
	斉藤(42)	[BBFB]	
	選手交代	中堅手・井上(8)に代わって、指原莉乃(1)が入り投手 DP・上西(36)に代わって、岡田奈々(29)が入り、中堅手 を兼務 投手・若田部(18)が、打撃専門 OP に	岡田(29)の位置は、DP8。 ※位置が 8 でないことに注意。
	斉藤(42)	[S]3 バント失敗(一死)	奪三振は、3 ストライク目を取った指原(1) に記録する。
	富川(14)	[FFB]3球目が暴投となり、一塁走者は二塁進塁、二塁 走者は三塁進塁。 故意四球。	WP 記号は先行の二塁走者に書き、一塁 走者の WP は括弧書き。 富川(14)への投球数は 3 となる。
三田(24)	一二塁間へのゴロ。二塁手が捕って本塁に送球する も、三塁走者生還(他走者もそれぞれ進塁), サヨナラ。	交代の縦波線と、#24 を記入。 二ゴロは一塁送球で打者走者がアウトに できたとしても、状況として二塁手は本塁 に送球するのが当然であるので、野手選 択とはしない。そのため打者の記録は、安 打となる。 1 番打者・中島(5)の得点による失点は、8 回当初の投手・若田部(18)に記録(タイブ レーク 走者のため、非自責点)。従って、負 投手も若田部(18)である。 サヨナラ(またはコールド)の終了時には、 ○死サヨナラ(またはコールド)と付記する。	
14:52 試合終了			記入を忘れない。